

福祉先進都市・東京の実現に向けた地域包括ケアシステムの在り方検討会議
「最終報告」に向けた議論の進め方と構成案

- 10月28日に公表された「中間のまとめ」の構成をベースとし、11月以降の2巡目の議論の内容を盛り込む。

○議論の進め方（スケジュール）（案）

12月24日 第7回検討会議

- ・最終報告書構成案提示

1月下旬～2月上旬 委員確認(1回目)

- ・最終報告書案委員確認、意見提出

2月16日 第8回検討会議

- ・委員提出意見を基に最終報告書案について議論

2月下旬～3月上旬 委員確認(2回目)

- ・委員提出意見、第8回検討会議での議論を踏まえた最終報告書の修正案について委員最終確認

3月中旬 最終報告書内容確定

3月下旬 最終報告書公表

○構成案 ※ 下線部は「中間のまとめ」から新たに追加する項目

1 検討会議の開催経緯等

(1) 検討の背景

2025年問題、東京の地域特性、日本創成会議の提言、一億総活躍社会 など

(2) 東京都長期ビジョンと東京都高齢者保健福祉計画

特養入所申込者の実態、施設と在宅サービスの整備、一都三県の連携、地域包括ケアシステムの構築 など

(3) 検討の主旨・目的

2 検討会議の議論の展開

(1) 総論

ア 地域包括ケアシステムとは

イ 人口構造の歴史的転換

(2) 医療と介護

ア 現状と議論のポイント

イ 議論から見えてきた課題

ウ 考えられる対応策

ロボット介護機器を効果的に活用するためのモデル的検証、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の充実、介護や医療等の包括的・予防的な生活支援を行う取組の支援、看取りの場の多様化と機能強化、本人の医療に関する意思決定支援 など

エ 今後の施策展開の方向性

(3) 介護予防と生活支援

ア 現状と議論のポイント

イ 議論から見えてきた課題

ウ 考えられる対応策

産学官民が連携した地域全体での健康づくり、認知症の人の在宅生活継続のための成功モデルの蓄積・分析・普及、専門職による若年性認知症の人への支援の拡充、仕事と介護の両立に資する効果的な情報提供 など

エ 今後の施策展開の方向性

(4) 高齢期の住まい方

ア 現状と議論のポイント

イ 議論から見えてきた課題

ウ 考えられる対応策

地域包括ケアの推進に資する住まいの供給促進、地域のマネジメント、多世代共生の仕組みづくり、大規模団地の再生、医療・介護とまちづくりとの連携 など

エ 今後の施策展開の方向性

3 資料編

開催実績、委員名簿、参考資料(データ集)